

授業概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における基本概念を踏まえたうえで、領域「言葉」のねらい及び内容、指導上の留意点を理解する。人的環境である保育者の役割と、評価の考え方、小学校教科とのつながりについて学びながら、言葉の発達と学習過程についての理解を深め、保育実践の場で活用できる保育構想と指導に関する基礎的な力をつける。言葉の発達を促すためにどのように援助していけばよいか、言葉を取り巻く問題を具体的にとらえられるように視聴覚教材やできるだけ新しい資料、知見を取り入れながら授業を進める。

授業計画

第1回	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容と領域「言葉」
第2回	領域「言葉」の歴史の変遷
第3回	領域「言葉」の「ねらい（1）」の内容、内容の取扱い、指導上の留意点
第4回	領域「言葉」の「ねらい（2）」の内容、内容の取扱い、指導上の留意点
第5回	領域「言葉」の「ねらい（3）」の内容、内容の取扱い、指導上の留意点
第6回	絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わうこと
第7回	日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わうこと
第8回	乳児期の言葉の発達と保育実践
第9回	幼児期の言葉の発達と保育実践
第10回	小学校の学習と5領域・領域「言葉」
第11回	幼児教育。保育の現場と5領域・領域「言葉」
第12回	言葉を育てる環境1 保育者の役割
第13回	言葉を育てる環境2 児童文化財（絵本・紙芝居等）の役割
第14回	言葉を育てる環境3 指導案の作成
第15回	言葉を育てる環境4 模擬保育
第16回	筆記試験

到達目標

- 1 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型こども園教育・保育要領に基づく領域「言葉」のねらい及び内容、指導上の留意点の理解
- 2 保育者の役割、評価の考え方、小学校教科等とのつながりの理解
- 3 言葉の発達特性を踏まえた保育構想と幼児教育・保育実践のあり方の理解と実践力の育成
- 4 絵本・紙芝居等の児童文化財の活用についての理解と実践力の育成

履修上の注意

理解を深めるために演習形式を用いながら授業を進めるので、能動的な姿勢で臨んでほしい。

予習・復習

予習・復習のためのレポートを課す場合がある。

評価方法

定期試験 70%、授業中に課す簡単な課題への回答 10%、レポート 10%、授業への参加態度 10%

テキスト

「新子どもの言葉」 二階堂邦子 三晃書房
 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」
 その他、必要に応じて適宜参考書を指示し、また資料を配布する。